

10月24日（月） 朝礼校長講話

今、部活動の新人戦・新人大会の表彰と、後期生徒会役員と学級委員の認証を行いました。これまで3年生が引っぱってきてくれた学校や学級、部活動が2年生や1年生に受け継がれたわけです。

表彰や認証を受ける時にどの子もしっかりとした声で返事をし、しっかりとした姿勢で立っています。とても立派です。そして、その子たちを選んだのは皆さんです。先日の生徒会役員選挙、委員長選挙の様子を体育館の後ろから見させてもらいました。1・2年生がしっかり聴いていたのはもちろんですが、被選挙権、立候補できずに選挙権だけある3年生がどういう姿で臨んでいるかを見ていたら、その1・2年生にも増してしっかりとした態度で演説を聴いていました。それを見た時、「後期も大丈夫だ」と思いました。選ばれた子たち、よろしくお願いします。がんばってください。そして、その子たちを選んだ皆さん、選んだ責任としてしっかり応援、支えていってください。

話は変わりますが、今日は45分授業です。担任の先生から聞いているかもしれませんが、明日、10月25日に愛知県全域からたくさんのお客様が弥富中にみえるので、そのためにそうじや準備をするためです。約140人みえると聞いています。何を観にみえるのか、それは道徳です。弥富中の子たちはどうやって授業をうけているのか、弥富中の先生たちはどうやって道徳の授業をしているのか、を観にみえます。とはいっても緊張する必要はありません。みなさんは普段からしっかり授業を受けていますから、いつも通りでよいです。

校長先生が先生方によく言うことがあります。「道徳の専門家はいない」と。先生たちはそれぞれ国語や社会や美術などの専門の教科をもっていますが、道徳が専門だという先生はいません。だから、先生たちは道徳のことをたくさん勉強しています。それと同じことが皆さんにも言えると思います。皆さんの中でも国語の漢字の得意な子、数学の計算の速い子、体育の実技の上手な子などがいます。例えば、数学の授業で、「僕はこう思うけどなあ」とちょっと自信なさそうに半分くらい手を挙げていた時に、数学の得意な子が発表すると、「あ、あの子が言うんなら間違いはないな。もう言わないでおこう」と挙げかけていた手を下ろしてしまうことはありませんか。でも、道徳は違います。道徳の得意な子はいません。考え方は人それぞれです。「僕はこう思うんだけど」「へえ、そうなんだ。でも私は」というように、自分の考えを出し合い意見を交わすことでさまざまなことに気づきます。明日は、ぜひ、そんな皆さんの姿を多くの方に見ていただこうと思います。